



アシシロハゼ号

12月定例クリーンアップ&生き物調査

【活動報告1】

12月28日(日) 10:00~11:30 晴れ

山田陽治

実施範囲：第二山王橋～大道東橋 **回収したゴミ**：土嚢袋2袋、竹

参加者：尾上伸一、寺尾勝廣、水野秀昭、松嶋良次、宮崎敏弘、宮崎風杜(小5)、安藤正人、安藤大和(小5)、安藤千歳(小3)、小池碧馬、牛丸忠信(小6)、山本春喜(小6)、滝沢優斗(小6)、二瓶光佑(小6)、河本充雄、山田陽治 (計16名)



回収したゴミ



川に投げ込まれていた大量の電池

アシシロハゼ (脚白鯊) 学名: *Acanthogobius lactipes*

スズキ目ハゼ科の汽水魚で最大体長約9センチほどになる中型のハゼの仲間である。侍従川及び東京湾にて親しまれているマハゼと良く似ているが頬や鰓蓋に鱗がないこと、白い横帯が体側にある事などから見分けることができる。

北海道以南から九州にかけて河口域、内湾環境に生息している。淡水の影響を受けない海水域には殆ど生息していない。南西諸島にはミナミアシシロハゼという別種が生息する。侍従川流域では平潟湾内の砂泥底に多く生息する他、春先から初夏の頃は侍従川に侵入し、ある程度の個体数が毎年確認される。

五月女陽斗



気づいた点：大量の電池が投げ込まれていた。今回も高舟台小の6年生(4名)が参加してくれました。

確認した生き物：イシマキガイ、カワナナ、テナガエビの一種、モクズガニ、ボラ、チチブ、シマヨシノボリ、スミウキゴリ、メダカの一種、クサガメ、ガガンボ幼虫、スミウキゴリ卵塊3、ヒドリガモ(目視)、コサギ(目視) [記録者：安藤千歳]



捕まえた生き物を山田代表が解説

大道溪谷整備作業&ホトケドジョウの個体数調査

【活動報告2】

1月24日(土) 10:00~15:00

金子英司

1月24日(土)に大道溪谷(大道中学校裏山)の整備作業とホトケドジョウの個体数調査を実施しました。

【参加人数】7名

【目的】・ゲンジボタル個体数維持のための生息環境整備

・環境省のレッドデータI B類のホトケドジョウについて現状の個体数把握

【活動内容】1時過ぎまで水路の泥揚げや拡張、水草の除去、笹などの草木の伐採作業をし、その後3時前までホトケドジョウの個体数を調査しました。

【ホトケドジョウ個体数】165

【振り返り】大変寒い中、参加いただきました皆様、お疲れ様でした。

今回は水路に覆い被さっていた笹の除去も実施しました。笹は安藤さん(金沢動物園職員)に持って帰っていただき、金沢動物園のインドゾウに食べてもらいました。今回は、ただ刈るだけでなく活用できてとても良かったと思います。整備作業で伐採した草木の活用はハードルが高いですが、そういったことも今後考えていければより良い活動になっていくと思いました。



笹を食べるインドゾウのヨーコ

ホトケドジョウはバックネット裏側でのみ確認され、元々個体数が多かった最上流側の南北に流れている水路では確認できませんでした。水路に土砂が堆積し、半陸地化しているのが主原因と思われます。一方で本流側では個体数は安定していると思われます。この水路についてはホトケドジョウに限ったものではなくヤゴなど他の生き物の生息環境にもなっていましたので、今後の整備作業の活動内容に組み込んでいければと思います。

なお、ホトケドジョウについては今年も系統保存のために一部個体を金沢動物園に持って帰っていただきました。ボランティアや個人の活動の範囲ではなかなか難しいのでとてもありがたいです。

年々参加者が減っているのが課題ではありますが、今年も無事整備作業を終えることができて良かったです。5、6月に沢山のホタルが見られることを期待しつつ、整備作業にも人を呼び込んでいける体制作りを考えていきます。



1月定例クリーンアップ&生き物調査

【活動報告 3】

1月25日(日) 10:00~11:15 晴

寺尾勝廣

実施範囲：泥牛橋～大道橋 回収したゴミ：土嚢袋3袋、スチロール箱1個

参加者：水野公秀、水野秀昭、小池碧馬、山田陽治、金子英司、寺尾勝廣(計6名)

気づいた点：紙ゴミが多かった。

確認した生き物：チチブ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、ビリンゴ、メダカ、ミズレヌマエビ、アオサギ1、コサギ1、カルガモ6、ヒドリガモ8、オオバン12



活動の様子



ミズレヌマエビ



回収したゴミ

2月定例クリーンアップ&生き物調査

【活動報告4】

2月22日(日) 10:00~11:30 曇時々晴

山田陽治

実施範囲：泥牛橋～加倉橋 回収したゴミ：土嚢袋2袋

参加者：山田陽治、小池碧馬、江口博之、松嶋良次、河本充雄(計5名)

気づいた点：雨が少ないせいか川の水位が下がっている。大道東橋下の土嚢袋がむき出しになっていた。アオノリが伸びていた。生き物が少なかった。

確認した生き物：ミズレヌマエビ、チチブ、カルガモ12(目視)、オオバン1(目視)、カワウ(死骸)



活動の様子



回収したゴミ



大道一丁目緑地の下にいたマガモ12羽

「はまみらいみんなフォーラム2026」出展報告

今井康、今井翔、山田、寺尾(報告)、五月女、河本 横浜の未来を考えるみんなの集い「はまみらいみんなフォーラム2026」が1月17日(土)10:00から野島公園内の野島青少年研修センターで開催されました。

フォーラムのテーマは「海の豊かさを体験しみんなでたのしもう!」というもので、多くのイベントが組まれていました。「貝殻アクセサリー作り」「海のごみでDIY」「防災カードワークショップ」などに加え、マグロの解体ショー(@寿司屋のまさる)が行われ、昼食で提供されました。チョー美味しかったですよ〜。

我らの「侍従川生き物水族館(二つ池生き物水族館併設)」は侍従川流域の魚類、爬虫類、両生類を展示しましたが、やはりタッチスネークが一番の人気。センター入口正面に構えた侍従川水族館を目にした方は500名以上(昼食券の販売数からの推定)に達したのではないかと推察しています。タッチスネークにチャレンジした人や魚類の多さに驚いた人、アズマヒキガエルのフィギュアに驚いたなど人など反応は様々でしたが、侍従川流域の生き物に興味をもってくれたと思います。

今後も機会を捉えて侍従川の魅力を発信していきます。皆さまぜひご協力ください。



■ 侍従川讃歌のご紹介 廣瀬隆夫

父・ふるさと侍従川に親しむ会元顧問 廣瀬一雄が書いた詩に曲が付きました。知人の高橋場一さんに作曲をお願いし、金沢区在住のソプラノ歌手・松永知史さんに歌っていただきました。

“侍従川讃歌”で Google 検索すると Youtube がヒットしますので、みなさんも聴いてみてください。



一、緑深き朝比奈の こけむす谷間若水に わき出る清き流れあり 名にしおう若水川
若水川から侍従川 流れ流れて杉の先 大道耕地を見渡せば 大堰近く水ぬるむ

二、大水の谷戸を右に見て 川間流れ明堂橋 諏訪の橋から侍従橋 並木観音おわします
高橋過ぎて三艘へ あし原抜け高谷の里 内川橋を越えたなら 夕日にはえる平潟湾
侍従とうとうと流れ 歴史を刻むふるさとは 照手の夢を語り継ぐ 永遠の流れよ

・作詞：廣瀬一雄 補作：廣瀬隆夫 作曲：高橋場一 企画：高橋克己

・歌：松永知史 編曲・伴奏：柴田悦子

トピックス

12/6 (土) 大道一丁目緑地愛護会と侍従川水辺愛護会と、ふるさと侍従川に親しむ会と、金沢土木事務所による大道一丁目緑地の今後のデザインについての話し合い…山田が対応

この話し合いの結果、河津桜を植えて、縁台も設置することになり、2月上旬に工事が行われました (右の写真)。

12/14 (日) 冬の森たんけんは雨天中止

1/22 (木) 河川下水道局河川流域調整課と横浜市川づくりコーディネーター制度の現地ヒアリング&視察…侍従川水辺愛護会 (石塚会長) とふるさと侍従川に親しむ会 (山田) が対応

2/6 (金) 高舟台小学校6年生が侍従川で生き物調査…山田が対応

●大道一丁目緑地のそばにお住いの廣岡英二さんが、水道のホースを取り替えてくださいました (右の写真)。廣岡さん、ありがとうございました。



事務局だより

◆4月～7月の活動予定

☆定例クリーンアップ&生き物調査

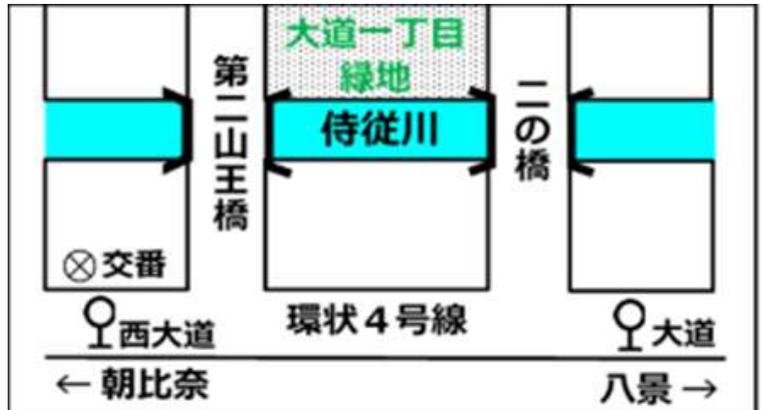
4/26(日)、5/24(日)、6/28(日)、7月26日(日)

10時～11時 大道一丁目緑地 (旧称ちとせ園)

持ち物：川に入れる格好、タオル、
長靴 (貸出あり)、軍手 (必要な
人)、網 (使いたい人…貸出あ
り)、着替え (心配な人)

※川の上からの参加でも構いません

※雨天中止 (中止の場合は、LINE
グループでお知らせします)



☆干潟の生き物観察会【日程】5月16日(土)

☆総会 (会員の集い&ホタル観察会)【日程】6月7日(日)

☆野島水路干潟調査【日程】7月11日(土)

※いずれも詳細はLINEグループ等でお知らせします。



ヒモハゼ (一昨年の干潟物観察会にて)



ヒドリガモ (去年の水鳥調査にて)

≪編集後記≫ 桜の木や縁台が撤去されて殺風景だった大道一丁目緑地に、河津桜が植えられ、縁台が設置されました (5ページに写真を掲載してあります)。山田代表が粘り強く行政と掛け合ってくれたおかげです。今後も侍従川流域をより良い環境にしていきたいですね。(MK)



会の活動はLINEグループでもお知らせしています。登録はこちらから ⇒ ⇒



侍従会のホームページはこちら

<https://jijyukai.sakura.ne.jp/w>

これまでの会報を全て見ることができます。



この会報は、一般財団法人伊丹エール財団からいただいた寄付金で印刷しています。